



佐世保市立黒島小中学校

住 所：佐世保市黒島町2608番地10

校 長：末川 宗一郎

児童生徒数：17名

学級数：5学級

(令和2年5月1日現在)

HP: <http://www.city.sasebo.ed.jp/es-kuroshima/>

1 目 的

学校教育目標「9年間を通して育てる ふるさとを愛し、未来を切り開く黒島っ子どもの育成」に基づいた本校のめざす児童像「**優しく感性豊かな子ども 進んで意欲的に学ぶ子ども 最後までやり抜く子ども**」の具現化のため、特色ある学校づくりを推進します。

学校教育目標

9年間を通して育てる ふるさとを愛し、未来を切り開く黒島っ子どもの育成

こんな子どもに

優しく感性豊かな子ども

- ・豊かな環境や体験活動の中で、感性を磨き、自分を大切にし、相手を思いやることのできる子どもの育成

進んで意欲的に学ぶ子ども

- ・学ぶことに喜びを感じ、意欲的に学習に取り組む子どもの育成

最後までやり抜く子ども

- ・身体を鍛え、粘り強くやり抜くタフな子どもの育成

特色ある学校づくり

令和2年度 特色ある学校づくりのキーワード

- ①思いやりの心
- ②食の大切さを実感
- ③夢・憧れ・志
- ④新しく再出発

- ①確かな学力
- ②読書活動の充実

- ①心身ともたくましく
- ②郷土に誇りをもつ

特色ある教育活動を具現化する際、めざす3つの児童生徒像に基づき、児童生徒や学校の実態、地域性などに加え、小中一貫教育である義務教育学校としての在り方を考えました。郷土黒島に誇りを持ち、たくましく生きる黒島っ子の育成をめざしています。

2 実践内容

(1) 優しく感性豊かな子ども

① 思いやりの心を持った児童生徒を育む



＜相西小学校大崎分校での活動＞

〔交流学習〕

今年度は前期課程の児童で、相浦西小学校大崎分校の児童のみなさんと交流を行いました。自己紹介を行った後、修学旅行で一緒に活動したことのお礼や、次年度宿泊体験学習でお世話になることのお願など、つながりを深めるための活動を行うことができました。黒島小中学校とは異なる大人数の学校の子もたちと交流することで、自らの見方や考え方を広げる大変よい機会になりました。今後も交流を深めていきます。

② 「食」の大切さを実感する子どもを育む

〔大豆栽培・黒島豆腐作り〕

学校農園に大豆の種を植えて自分たちで育て、収穫しました。収穫した大豆を使って黒島豆腐作りを行いました。種まきと黒島豆腐作りの際には、地域の方にゲストティーチャーとして来校いただき、指導を受けました。

一連の学びの中で、地域の食への関心を高めたり、地域や保護者の方への感謝の気持ちをもったりすることができました。



＜大豆作り＞



＜黒島豆腐作り＞

③ 夢・憧れ・志について考える児童生徒を育む



＜職場体験学習の様子＞

〔職場体験学習〕

職業に対する正しい理解と望ましい勤労観を育むことを目的として、生徒それぞれが、自分の将来を見据え、興味のある職業について調べ学習を行いました。その後、島内・市内の各事業所へ体験学習の受入依頼・体験学習を実施し、学習発表会で、その成果を全員が発表しました。

④地域住民に義務教育学校の教育活動を周知する

〔学校カレンダー等〕

黒島小中学校が義務教育学校であること及び学校の行事等について、町民や来島者に周知するため、学校カレンダー・チラシ・幟を作成し、地域の方への周知を図ることができました。



＜義務教育学校周知の幟＞



＜義務教育学校周知のチラシ＞

③植物を栽培から生命を大切にし、感性豊かな児童生徒を育む

〔植物の栽培活動〕

新校舎には栽培園が少ないため、1～6年生は一人一鉢ずつプランターで植物を育て、7～9年生はハイビスカスを育てる活動を行いました。育てた植物で来校者に喜んでいただけるようにし、生命の大切さを学ばせると共に、責任を持ってお世話をする大切さを学ばせることができました。



＜栽培活動の様子＞

(2) 進んで意欲的に学ぶ子ども

①確かな学力を身に付けた児童生徒を育む



＜研究授業の様子＞

〔学力充実〕

全国・県・市など各種学力調査結果を全教職員で分析し、課題となる問題について対策等を取りまとめました。課題となる領域・単元について当該学年中に振り返りを行って進級させるようにしました。

また、1～6年生はスキルタイムとして位置付けている「学習タイム」で、7～9年生はA T（アチーブメントタイム）で個の課題に応じた指導充実を図りました。

担任・副担任が研究授業を行い、全教職員による授業研究会を通して、学力向上のための授業の充実を図っています。

〔読書活動の充実〕

学力向上へ取り組む中で、語彙力を高めることや多様な表現に親しむことの必要性を感じ、読書の質の向上に力を入れました。読書集会は、児童生徒が、互いに自分の読んだ本の紹介をし合う会です。確かな読みに加え、相手に伝える表現の力も求められます。異学年グループで行う交流会は価値ある取組になりました。

また、国語学習とリンクした読書を行うことで、学習効果を高めるよう努めています。



＜読書集会の様子＞

（3）最後までやり抜く子ども

①心身ともにたくましい児童生徒を育む



＜シーカヤック活動の様子＞

〔シーカヤック体験学習〕

ゲストティーチャーを招聘して様々なシーカヤックのスキル、転覆したときのレスキュー法等を教えていただきました。

また、低高学年児童生徒がペアとなってシーカヤック体験を行いました。黒島の自然の素晴らしさや学び合うよさを学ぶことができました。

②郷土に誇りをもつ児童生徒を育む

＜世界遺産出前授業の様子＞



〔ふるさと学習〕

今年度は、黒島の集落が世界遺産に認定されたことを活かし、長崎大学附属小学校の児童と一緒に、長崎の世界遺産について考え、情報発信する学習を行いました。世界遺産になったことを通して、今後の黒島の在り方について、ひとりひとりが自分の課題として考えることができました。ふるさと黒島のよさを再認識し、自分たちの故郷に自信を持つ大変よい機会となりました。